

ミッションステートメント



存在意義 **Mission**

革新的な医薬品とサービスの提供を通じて
新しい価値を創造し、世界の医療と人々の健康に貢献します

価値観 **Core Values**

1. 患者中心/Patient Centric
患者さん一人ひとりの健康と幸せを最優先に考えます
2. フロンティア精神/Pioneering Spirit
自らを磨き、新たな発想で、イノベーションを追求します
3. 誠実/Integrity
常に誠実な行動で、社会の期待に応えます

目指す姿 **Envisioned Future**

ロシュとの協働のもと、
独自のサイエンス力と技術力を核として、
患者中心の高度で持続可能な医療を実現する、
ヘルスケア産業のトップイノベーターとなります

中外製薬は、ミッションステートメント(=企業理念)を掲げ、すべての企業活動の根幹としています。この中で、「存在意義」(Mission)は、中外製薬の不変の最重要概念で、関東大震災後の薬不足を憂いた創業者が「世の中の役に立つ薬をつくる」と誓った「創業の精神」を受け継いでいます。「価値観」(Core Values)は、社員が共有し体現していく価値のことです。フロンティア精神を持ち、イノベーションの追求を続けながら、社会の期待や要請に応えるべく常に誠実であること。それによって、一人ひとりの患者さんに貢献していくことを明示しています。「目指す姿」(Envisioned Future)では、今後の医療を取り巻く環境変化を踏まえ、「製薬ビジネス」の枠組みを超えて、ヘルスケア産業の「トップイノベーター」を目指すことを掲げています。こうした「共有価値の創造」を通じたミッションステートメントの実現こそ、中外製薬の価値創造の姿であると考えています。

イノベーション
創出の
核となる源泉

独自の
サイエンス・
技術力

ロシュとの
戦略提携

中長期視点



研究

世界屈指の創薬技術

16品目

開発パイプラインにおける
自社創製品数
(2021年2月4日現在)

67本*1

研究実績に関する
論文・学会発表数
(2020年)

5,366件

特許保有件数
(出願中を含む)
(2020年12月31日現在)



人財

ミッション実現の最大の資産

EHS (環境・安全衛生)、投資関連



中長期視点の一体マネジメント

ゼロ

2050年の
CO₂排出量
目標

2022年

次世代研究施設
「中外ライフサイエンス
パーク横浜」竣工予定

中期視点

臨床開発・製薬



充実したパイプライン

累計 **8** 回

Breakthrough Therapy
(画期的治療薬) 指定*2
(2021年2月4日現在の累計)

54 プロジェクト

パイプラインプロジェクト数
(2021年2月4日現在)

30 件

新製品発売・適応拡大数
(2016-2020年)

14.6%

女性管理職比率*3
(単体在籍ベース)*4
(2020年)

109,580 円

従業員1人当たり教育研修費
(単体在籍ベース)*4
(2020年)

194 名

ロシュ人財交流プログラム
(2004-2020年)

2,547 億円

過去5年設備投資額累計
(2016-2020年)

△17%*5

2010年比従業員1人当たりの
エネルギー消費量
(2020年)

*1 創薬・製薬関連の合計

*2 重篤または致命的な疾患や症状を治療する薬の開発および審査を促進することを目的に、2012年7月に米国食品医薬品局 (FDA) にて導入された制度

*3 管理職に占める比率

*4 中外製薬株式会社 (単体) の在籍者に基づいて算出

*5 国内中外製薬グループおよび海外研究・生産拠点

短期視点

ソリューション関連(マーケティング、メディカルフェアーズ、医薬安全性)



確たるプレゼンス

国内No.1

抗体医薬品国内売上シェア(22.5%)*6

国内No.1

がん領域国内売上シェア(15.2%)*6

国内No.1

医療関係者からの満足度評価
(がん領域、100床以上)*7
(血友病領域)*8

国内No.1

安全性情報提供の充実度評価(100床以上)*9

製品・情報など

ソリューション活動により、各種情報を医療関係者・医療機関に提供。製品そのものは、医薬品卸を通じて提供



財務成果 成長性と収益性が評価

7,869億円

売上収益(国内No.5)*10
(2020年)

38.3%

営業利益率(IFRS)(国内No.2)*10
(2020年)

7.5兆円

時価総額(国内製薬No.1)*10
(2021年3月末時点)

*6 Copyright © 2021 IQVIA. 出典：医薬品市場統計 2020年暦年(1月~12月)をもとに作成 無断転載禁止 市場の範囲は中外製薬定義による

*7 インターヘルスケア[オンコロジー領域CS調査2020]当社定義による医師を対象とした企業総合評価に関する調査結果に基づく

*8 インターヘルスケア[血友病領域CS調査2020]当社定義による医師を対象とした企業総合評価に関する調査結果に基づく

*9 インターヘルスケア[2020安全性情報ニーズ把握のためのアンケート調査]

*10 医薬品関連企業決算データ：中外製薬：2020年12月期、同業他社：2020年12月期および2020年3月期

注：「医薬品関連企業」とは、医療用医薬品の国内上場製薬企業、売上上位10社を対象範囲としています(武田薬品工業、大塚ホールディングス、アステラス製薬、第一三共、中外製薬、エーザイ、大日本住友製薬、塩野義製薬、協和キリン、小野薬品工業)

提供価値

医療関係者・医療機関

- 疾患コントロール充実
- 治療選択肢拡充

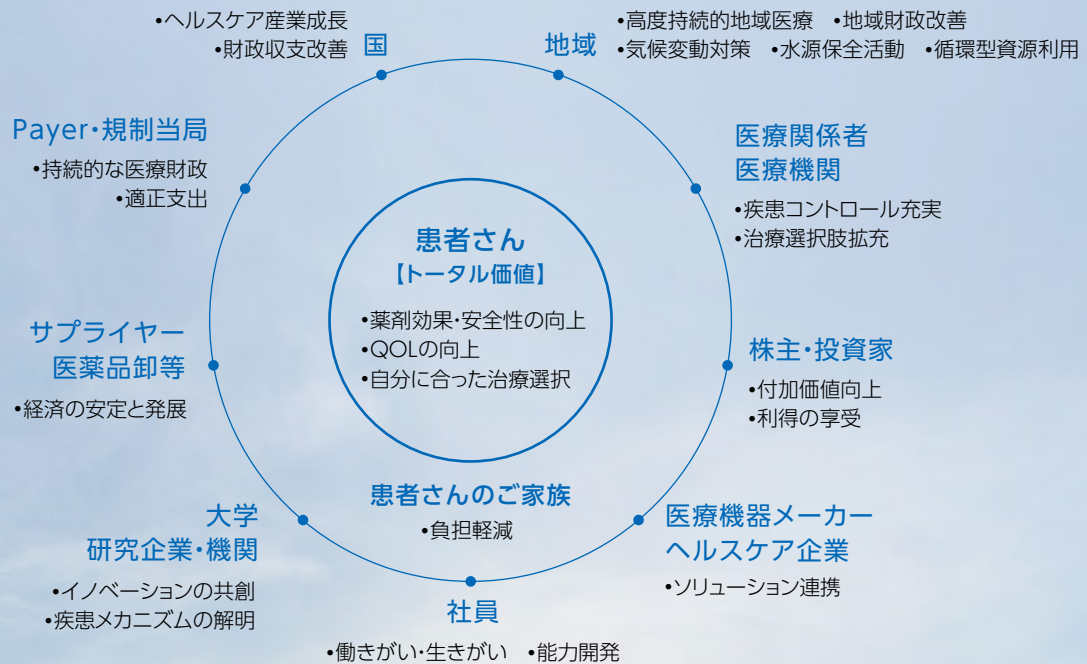
革新的な医薬品と高度なソリューションを通じて、疾患コントロールの充実と、治療選択肢の拡充が実現。なお、中外テリトリー（日本・韓国・台湾）以外の患者さんアクセスは、ロシュをはじめとするグローバル企業を通じて実施

患者さん

- 薬剤効果・安全性の向上
- QOLの向上
- 自分に合った治療選択

医薬品による直接的な薬剤効果や安全性の向上だけでなく、個別化医療を通じた最適な治療の提供や、早期診断や予後の改善なども含めたQOL向上に貢献

中外製薬は、患者さんを中心とする医療の中で、それぞれのステークホルダーと価値を共有しながら、「患者中心の高度で持続可能な医療の実現」を目指しています。



この1年のトピックス



世界初のスイッチ抗体をはじめ 6品目がパイプライン入り

疾患部位で特異的に高濃度になる分子(スイッチ分子)の存在下でのみ標的抗原に結合するようにデザインされた、中外製薬独自の「スイッチ抗体技術」を適用したSTA551をはじめ、2020年は6品目がパイプライン入り。



アトピー性皮膚炎を対象に「ネモリズマブ」の 国内承認申請、および適応拡大の取り組み

国内導出先のマルホ株式会社を通じて国内承認申請を実施(2020年第3四半期)。また、海外導出先のガルデルマ社が、米国FDAよりBT指定を受けている結節性痒疹に対する第III相臨床試験を開始。



リサイクリング抗体技術を適用した 「エンスプリング」発売

視神経脊髄炎スペクトラム障害に対する新作用機序を有する薬剤として、日本および米国にて2020年8月に発売。独自技術により4週1回の皮下投与による利便性の高さが特徴。



血液検体を用いた、 がん遺伝子パネル検査の承認を取得

組織の採取が難しいがん種にも対応可能な血液を用いた包括的ゲノムプロファイリング[FoundationOne Liquid CDx]を2021年3月に承認を取得。がんゲノム医療の進展を目指す。



新型コロナウイルス感染症拡大に対する 研究開発

「アクテムラ」を使用した臨床試験を実施するほか、中外ファーマボディ・リサーチとA*STAR*1との共同研究、当該疾患の治療薬開発を目的としたイーライリリー社への抗体エンジニアリング技術導出などを実施。そのほか、開発品の国内導入として、リジェネロン社の抗体カクテル療法、ならびにアテア社の経口新薬候補品について、それぞれ日本における開発権および独占的販売権をロシュより取得。

*1 シンガポール科学技術研究庁



「CHUGAI DIGITAL VISION 2030」を 発表・施策加速

さまざまなDX施策を進めると同時に、外部パートナーとの協働を強化。経済産業省と東京証券取引所が選定する「デジタルトランスフォーメーション銘柄(DX銘柄)2020」に医薬品セクターで唯一の選定。



パートナー(NGO)*2と協働で グローバルヘルスの取り組み推進

2020年2月にカンボジアにてチーム医療推進プログラムを開始したほか、7月にはミャンマー・ヤンゴン市で患者さん中心の質の高いがん治療実現を目指す取り組みを開始。

*2 当該カンボジアおよびミャンマーでのプログラムはそれぞれ特定非営利活動法人ジャパンハート、City Cancer Challenge Foundation(C/Can)と協働



世界的なESG投資指数 「DJSI World」に初選定

2020年11月、中外製薬が持続可能性に優れた企業として評価され、全世界の医薬品企業の上位8社で構成される「DJSI World」*3の構成銘柄に初選定。

*3 世界の代表的なESG投資指数であるDow Jones Sustainability Indices (DJSI)の全世界版

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA



新人事制度の策定・運用

2020年4月から、適所適材による役割と創出成果に応じた人事処遇を行う新人事制度を導入。従業員の自律的なキャリア開発とチャレンジを促進・支援。



新マネジメント体制での経営推進

新成長戦略を新たな経営体制で推進することを目的とし、2021年3月23日付で奥田が社長CEO、小坂が会長、上野が副会長となる新経営体制を発表。



2030年に向けた価値創造戦略の策定

2021年2月、2030年に目指す「ヘルスケア産業のトップイノベーター像」の具体的な姿と、その実現に向けた10年間の新成長戦略を発表。

